

倉中だより

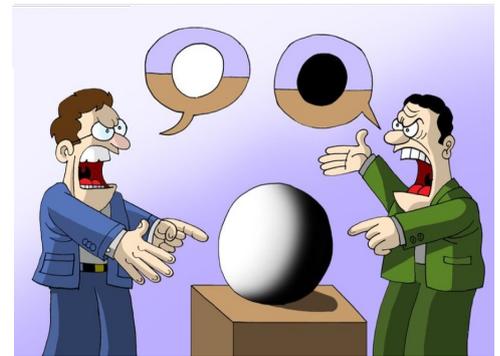
伊勢市立倉田山中学校
 伊勢市神田久志本町1645-2
 校長 伊豆 敏
 電話 22-9415
 FAX 22-2198
 E-mail
 kuratayama@jr.ise-mie.ed.jp

学校教育目標 「心やさしく、たくましく、知性豊かな倉田山中生徒の育成」

◇Justice: What's The Right Thing To Do? (正しいことは何か?) ◇

ハーバード大学のマイケル・サンデル教授の有名な講義の一つに「Justice: What's The Right Thing To Do?」があります。講義の中で「1人の命を犠牲にすれば、5人の命が助かる場合、1人の命を奪うことは正義か?」など、サンデル教授は学生たちに色々な難問を繰り出します。学生たちは自分たちの立場や価値観、道徳的根拠から自分たちなりの答えを出していきませんが、サンデル教授の難問に答えていけばいくほど、その答えの多くが矛盾していることに気づいていくことになります。つまり、「何が正しくて、何が間違っているのか」という問題は必ずしも簡単に白黒つけられるものではないことがわかってきます。

人と人が何か物事を進めようとしたり決めようとしたりする
 とき、意見や考え方の違いで対立が生じることがあります。その
 多くは、真実は1つでも、立場の違いからその捉え方が違うこと
 がよくあるからです。



画像 (<http://www.cartoonmovement.com/>)

子ども同士のトラブルも、大人の職場で起きている議論も、国
 同士の対立もそれぞれの言い分があり、それぞれの立場に立って
 考えるとどちらも正しいので仕方ありません。しかし、大切なこ
 とは言い争いをすることではないということです。対立して互い

に批判することが目的なのか、それともお互いの考え方を理解し、少しでも解決するように物事を推し進めることが目的なのか。そして、「あなたは白、私は黒、いろいろな考え方があるよね」で済む話なのか、それとも「お互い見え方が違うんだね、じゃあどうしようか?」の話をしなければならないのか、そういったことを考えていく事がとても大切なことではないでしょうか。

新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休校が続き、ようやく6月から本格的に授業が再開しました。各学年では年度当初に見られる生徒同士のトラブルが今頃になって見られるようになり、保護者からもご心配の連絡をいただくことがあります。当然、たくさんの方が生活する学校では、友達との仲が上手くいかないことや、自分の思い通りにならないことがよくあります。人となにか意見や考え方が食い違ったりトラブルになったりしたとき、倉田山中学校の生徒たちには、自分の主張ばかりするのではなく、相手の立場も含めて物事を考え、解決していくようになってほしいと思います。

現在、倉田山中学校では、生徒同士でうまくいかないことが起こった時に学校から保護者へ連絡すると、「うちの子が悪かったんでしょ?」と、まず自分の側に責任があるのではないかと謙虚に考えてくださることは、とてもありがたく感じています。保護者同士で、そう考えてくださると解決がとても早くできますし、解決後も子どもたちの心がスッキリします。また、トラブルそのものよりも、その後の解決にどう学校や保護者が関わっていくかが大事であるということも十分に理解していただいていることに大変感謝しています。引き続き子どもの意見も十分に聞いていただきながら、色々な視点、角度で物事を考えられるようにアドバイスをお願いしたいと思います。

◇今後の学校行事について◇

新型コロナウイルス感染症の影響でこれまで、授業の進度や学校行事、対外的な行事（中体連の春季大会、連合陸上競技大会など）の中止等大きな影響が出ました。特に3年生には、最終学年でありながら色々なことを経験する機会が減ってしまいました。しかし、夏季大会も開催が危ぶまれていましたが、中体連の先生方のご尽力で、伊勢度会夏季交流大会という形で開催する方向となりました。7月25日（土）、26日（日）、8月1日（土）、2日（日）の大会に向けて、それぞれのクラブが練習に力を入れているところです。



また併せて、一番重要な学力向上を最優先に考え、十分な体制で進路指導を行い、進学には影響が出ないように考えていきます。6月22日（月）には、3年生に進路ガイダンスを行い、今後の進路選択に向けた説明を行いました。進路ガイダンスでは、進路選択の心がまえや今後のスケジュール、学科や選抜方法等についての内容でした。第2回進路説明会が11月18日（水）に予定されています。とても重要な話ですのでお家でも話題に取り上げていただければと思います。



3年進路ガイダンス

さて、今後の学校行事の見通しですが、9月に運動会、10月に文化祭、11月には修学旅行が続きます。これらの学校行事については、引き続き、新型コロナウイルスの感染防止について、できるだけリスクを減らしながら、進めていく必要がありますので、いずれの行事も例年のような形では開催できないと考えています。感染のリスクを0にすることが前提であれば、全ての教育活動はできなくなりますので、運動会については、例えば生徒が近距離で接触する場面が多い種目を見合わせてコンパクトな運動会にしたり、生徒の応援席や保護者の参観場所も密にならないように工夫し、ソーシャルディスタンスを確保したりすることを検討していく必要があります。文化祭については、例年のように体育館内で合唱コンクールや吹奏楽部の発表を行うのであれば、どのようにしていくのか練習方法も含めて大きな検討課題です。場合によっては内容の大きな変更も検討することも考えています。3年生の修学旅行については、4月頃の全国的な新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえると、修学旅行の中止も十分想定される状況でした。現在も他の市町では修学旅行を中止したり、行き先を県内にしたりするところもあります。ある程度、新規感染者数のピークは越えたようにも思われますが、東京では相変わらず新規感染者が出ており、感染の第2波、第3波を想定すると、少しでもリスクの少ない方面への行き先の変更を検討する段階にきていると考えています。しかしながら、3年生が楽しみにしている修学旅行については、なんと少しでも実施したいと考えています。

いずれにしても1つ1つの行事を丁寧に検討していきますので、詳細が決まり次第、随時お伝えします。例年の内容と大幅に変更することもありますので、ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

◇お知らせ◇ 熱中症対策について

今年度は、学校の臨時休業に伴う夏季休業期間の短縮やマスク着用による感染症対策等、新型コロナウイルス感染症対策のため、熱中症のリスクが高まることが予想できます。このことから、例年の熱中症対策に加え、暑い日に徒歩通学をする場合は、体操服や体育時の帽子を着用しての登下校や、傘をさしての登下校も構いません。なお、授業中は制服とし、期間は9月30日までとさせていただきます。